

令和 8 年度 国内需要安定化事業  
「おきなわ物語 特集記事リニューアル及び新規記事作成業務」  
仕様書

1. 業務名

令和 8 年度 国内需要安定化事業

「おきなわ物語 特集記事リニューアル及び新規記事作成業務」

2. 事業目的

首里城の正殿完成ならびに沖縄島北部（やんばる）及び西表島の世界自然遺産登録 5 周年を契機にその価値・魅力・楽しみ方・保全の重要性等を発信し、観光誘客と認知向上、理解促進を図る。

3. 委託期間

契約締結の日から令和 9 年 2 月 17 日（水）迄

4. 提案総額上限

提案総額の上限は 2,000,000 円（消費税込み）の範囲内とする。

ただし、この金額は企画提案のため提示した金額であり、実際の契約金額とは異なる。

5. 委託内容

(1) 特集記事リニューアル業務

下記の特集記事をリニューアルする。

[[https://www.okinawastory.jp/feature/shurijo\\_R5/](https://www.okinawastory.jp/feature/shurijo_R5/)] ]

琉球王国を象徴する建物であり、現在も沖縄のシンボルである首里城の正殿完成を契機に既存の特集記事をリニューアルすることで観光誘客と認知向上、理解促進を図る。

- ・ 令和 5 年度に作成された記事を残しつつ、新たにページを追加する。

その際、「民間の取り組み」のページは非表示にし、『（ア）正殿完成後の楽しみ方』

『（イ）正殿完成を迎えた匠たちの思い』『（ウ）首里城公園周辺のモデルコース』

『（エ）首里城公園来訪時の注意点』のページを新規で追加すること。

新規で追加する記事の内容は以下とする。

（ア） 正殿完成後の楽しみ方

- ・ 正殿完成後のガイドツアーの様子や楽しみ方を紹介する
- ・ 焼失前 / 復元後の画像を並べて紹介する

- ・焼失前との違いを記載する

- 1.どこまで忠実に再現されたのか

- 2.焼失前との違いや新たに導入された技術（防火対策など）

- ・首里城公園内のカフェなど、お客様目線で楽しめるものを追加する

※その他提案可とする。

※正殿完成前に取材及び記事制作を進め、必要に応じて完成後に追加取材を実施の上、記事へ反映させること。

#### （イ）正殿完成を迎えた匠たちの思い

- ・「首里城復元における技術継承・人材育成に係る連携協定」を結んだ経緯を掲載する

- ・既存ページ「復興を支える匠たち」に掲載されている匠たちへの再インタビューをおこなう

※インタビューにおいて、当時（令和5年）の匠が退職している場合や、インタビューの対応が難しい場合は、後任の方等に依頼すること。

※苦労したことや印象深いエピソード、注目ポイントなどをヒアリングし記載すること。

※構成及びボリュームは既存ページ「復興を支える匠たち」に合わせること。

※正殿完成前に取材及び記事制作を進め、必要に応じて完成後に追加取材を実施の上、記事へ反映させること。

#### （ウ）首里城公園周辺のモデルコース ※新規追加

- ・首里城見学（2～3時間）＋周辺スポット（カフェ・グルメ・文化体験など）でモデルコースを作成する

【内容】朝～夕方に観光したい方向け／午後～夜に観光したい方向けの計2本

※掲載する店舗は受託事業者にて選定すること。

※移動手段は可能な限り二次交通とすること。

※モノレールの運行時間内で周遊できるモデルコースを作成すること。

- ・首里城散策アプリを紹介する

#### （エ）首里城公園来訪時の注意点 ※新規追加

- ・入場制限
- ・駐車可能台数や混雑状況
- ・気をつけること／お役立ち情報 など

※駐車場の混雑状況や近隣駐車場など、流動的な情報は首里城公園 HP に遷移させること。

※駐車場は一般車両向け駐車場のみ記載すること。

- ・既存記事のデザイン・トーンをベースに提案する
- ・既存コンテンツとの整合性や効果的な見せ方を考慮したレイアウト案を提案する
- ・(ア)～(エ)のタイトルも提案する
- ・内容の変更点や情報の追加、変更理由、経緯等を記したマニュアルを作成する
- ・取材や撮影をしたうえで記事制作を行う

## (2)新規記事作成業務

下記のテーマに沿った特集記事の制作業務とする。

「沖縄島北部（やんばる）及び西表島の世界自然遺産登録5周年」をテーマとした記事

沖縄島北部（やんばる）及び西表島の世界自然遺産登録5周年をテーマとしたコンテンツを作成し、その価値・魅力・保全の重要性を発信し、観光誘客と理解促進の両立を図る。単なる観光紹介ではなく、“世界的に守る価値のある場所”として訴求し「守りながら楽しむ観光（レスポンスブルツーリズム）」の認知向上を目的とする。

記事の内容は以下とし、沖縄島北部（やんばる）、西表島の2ページ構成とする。

### (ア) 沖縄島北部（やんばる）及び西表島の魅力を紹介

やんばる・西表島それぞれの魅力を掲載する

<例>固有種／亜熱帯の森・水・地形／他地域では体験できない独自性など

※西表島のページ下部に以下リンクを設置し、奄美大島・徳之島について紹介すること。なお、スマホで閲覧した際にスクロールせずに内容が把握できる程度の分量とし、簡潔な概要紹介に留めること。

<https://amamiokinawa.jp/>

### (イ) ガイドツアーの紹介

地域の特徴があるガイドツアーを紹介する

※西表島は1つ、やんばるは各村1つずつ（合計3つ）とすること。

※西表島は、可能であれば上記以外のガイドツアーの情報もいくつか紹介すること。

※やんばるは、やんばるの自然をテーマとしつつ地域ごとにナイトツアーやEVバスツアーなど異なる体験を取り上げ、多様な切り口でやんばるの魅力を楽しめる内容とすること。

※紹介するガイドツアーは、受託事業者にて選定し選定理由を明記すること。

※季節・天候別の楽しみ方も掲載すること。

※可能な限り各村の観光協会が推奨するガイドを選定すること。

(ウ) 実用情報を紹介する

来訪前の不安を解消する情報を掲載する

- ・アクセス（那覇からの所要時間、移動手段）
- ・季節ごとの見どころ
- ・服装や持ち物
- ・注意点（電波がつかない場合があることや道路状況など）
- ・ルールやマナー（参照；<https://amamiokinawa.jp/rules/>）など

(エ) 事業者（ガイド）の思いを紹介

事業者（ガイド）にインタビューを行い、保全への想いや観光との共存についての思いなどを掲載する

※インタビューは受託者にて選定し、選定理由を明記すること。

※ガイドから、認定ガイドの推奨や注意事項等を伝えるという形が望ましい。

（例）入域時のルールや事前準備、心構え、動植物保護の注意点、ガイド利用の推奨、環境配慮の行動例など

（参照；[https://amamiokinawa.jp/iriomote\\_ninteiguide/](https://amamiokinawa.jp/iriomote_ninteiguide/)）

- ・記事数やページ数は自由に設定可能とする
- ・紹介するガイドツアーなどは取材を行ったうえで記事のライティングを行う
- ・ガイドツアーやインタビュー等の選定理由は、根拠をしっかりと提示する
- ・コーディングの際には、SNS 等での拡散を想定した OGP（※注釈 1）設定等も行う

（※注釈 1）OGP とは、SNS でシェアした際に、設定した WEB ページのタイトルやイメージ画像、詳細などを正しく伝えるための HTML 要素のこと。SNS 上で URL が共有された際に設定しておいたタイトルや画像、説明文などが表示されるようになり、ユーザーに対して WEB ページの内容を詳しく伝えることができる

(3)特集で紹介した施設の詳細紹介ページの新規作成（更新）

登録にあたっては事業者側での申請を促す

CMS にて、施設名・住所、電話番号、営業日、WEB ページ URL、SNS ページ URL、地図などを定型のフォームへ入力する

テナント登録ページ：<https://www.okinawastory.jp/registration/>

(4)業務完了報告書の作成

①制作物、取材業務など、実施業務全般に係る報告書を作成し提出する

②業務にかかった費用内訳とその適正および支払いを証明する証憑書類（原本）をファイルにまとめて提出する

(例)・外注先企業等からの見積書、納品書、請求書

・外注先企業等への支払い証明書

・自社人件費の根拠書類、勤務一覧

(5)一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下、「OCVB」という)と協議の上、業務遂行に必要とされる業務

## 6. 企画提案内容

企画提案に関しては、以下の内容を提案に盛り込むこと

### (1)デザインの提案

①テーマごとのページデザイン案(PC・スマホ版)を1ページ以上提案する

※イメージ図も含めること

※デザインにあたっては、UX(※注釈 2)向上に向けた UI(※注釈 3)設計を意識し提案する

※特集内容にマッチするデザインとする

(※注釈 2)UX (ユーザーエクスペリエンス) とは、ホームページを利用したときのユーザー体験(得られる感情)のこと
---

(※注釈 3)UI (ユーザーインターフェース) とは、ホームページ内で閲覧する、もしくは操作する要素のこと(例:テキスト、画像、レイアウト、カルーセル、ボタン等)
--

②読みやすさ、わかりやすさを考慮したページデザインにする

③スマホでも読みやすい文章量や適宜、間に写真をはさむ等レイアウトを工夫する

④おきなわ物語のヘッダー、フッター内に配置するのにふさわしい配色、デザインとする

### (2)記事内容の提案

①事業目的に沿った内容とする

②「おきなわ物語」内の他特集や他コンテンツへの動線(内部リンク)を意識したページ設計とする

③特集ごとの掲載内容案や紹介店舗、人物案をまとめる

### (3)成果指標、効果測定手法、SEO 対策(※注釈 4)案、プレスリリース手法等の提案

①本業務における成果指標と効果測定手法を提案する

※効果測定の期間は公開から一か月を目安とする

②SEO 対策に向けた手法を提案する

※SEO 対策以外にも、改善事項があれば提案可

③記事作成後のメディア、ユーザー等への周知・拡散方法を提案する

※効果的なプレスリリース、記事拡散手法等の提案

(※注釈 4) SEO 対策とは、WEB サイトのコンテンツを、Google をはじめとした検索エンジンが認識しやすいように最適化し、検索結果の上位に表示させること

#### (4)実施スケジュールの提案

①作業の対応ができる十分な人材を確保する

※作成記事の担当割り振りなども提案内容に盛り込む

※間隔を開けて記事の公開を行う

(想定／世界自然遺産：11 月 1 日、首里城：正殿復元の完成式から 2 週間以内)

※効果測定は公開後から 1 カ月間の数値をとること

※報告会は 2 月 1 日を予定とする

#### (5)企画実施体制の提案

①コンソーシアムでの参加の場合は各企業・団体名を明記する

②ライター、カメラマン、モデル、デザイナー、コーディング対応者が確定している場合は氏名、実績等を明記する

※過去の製作実績などがあれば記載する

#### 7. 特集コンテンツ作成上の留意点

(1)公開後、アーカイブとして長期に公開されることを想定し、金額など変動が想定される情報は極力掲載しないようにする

(2)おきなわ物語内に施設情報の掲載がない事業者を取り上げる場合は、取材時におきなわ物語へのテナント登録および情報掲載を促し、外部リンクとならないようにする

※「スポット・サービス」「グルメ」「宿泊情報」「アクセス」メニュー配下に各テナントページを掲載中

(3)全てのページを PC、スマートフォン、タブレット端末での閲覧を想定したレスポンシブ WEB デザイン(※注釈 5)とする

※仕様：ブレイクポイント(※注釈 6) スマホ/320～767px、タブレット/768～1023px、PC/1024px～

(※注釈 5)レスポンシブ WEB デザインとは、PC やタブレット、スマートフォンなど異なる画面幅であっても WEB サイトの表示を柔軟に調整することで、WEB サイトを見ているユーザーにとって最適なデザインのこと

(※注釈 6)ブレイクポイントとは、画面のサイズが変わり特定の画面幅のときにレイアウトが変わる点のこと。画面の幅に合わせてレイアウトなどを調整するレスポンス対応をすることでユーザーはどのデバイスからでも快適にサイトを閲覧することができる

- (4)制作ページを印刷することを想定し、印刷画面での表示にずれなどがないように制作する
- (5)OCVB の提供するコーディング規約に従い、ページ制作を行う
- (6)掲載する画像やテキストは、現場にて取材・撮影を行った素材を用いる
  - ※第三者に著作権があり沖縄県・OCVB による二次使用ができない画像の使用は原則不可とする
  - ※取材先等から提供を受けた写真を使用する場合は、必ず事前に OCVB の許可を得る
- (7)掲載内容については、受託者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行う
- (8)掲載後の情報変更を考慮し、掲載完了後から 1 年間は OCVB の指示により情報修正できる体制を構築する

## 8. 報告書、納品物の提出

- (1)「業務完了報告書」「納品物」は、令和 9 年 1 月 13 日（水）までに提出すること
- (2)納品物について（USB メモリにて納品/USB は返却しない）
  - ①特集原稿 / word ファイル
  - ②撮影画像 / jpg（撮影した全ての画像、記事未使用画像含む）
    - ※記事使用画像はオリジナルサイズとリサイズデータの両方を納品すること
  - ③デザイン・イラストデータ / Illustrator または Photoshop などの編集可能なデータ
  - ④WEB ページデザイン案 / Illustrator または Photoshop などの編集可能なデータ
  - ⑤WEB ページデータ / html ファイル、CSS ファイル、JS ファイルなど
  - ⑥画像の撮影者、提供元、2 次使用、3 次使用の可否をまとめた資料 / Excel ファイル
    - ※2 次使用とは、県または OCVB が実施するすべての事業で使用することを指す。
    - ※3 次使用とは、県または OCVB を除いた第三者が使用することを指す。
  - ⑦証票書類等
  - ⑧提案した成果指標に基づく効果測定レポート
  - ⑨その他 本業務に付随する資料で OCVB が依頼するもの

## 9. 著作権

- (1)本事業で制作した成果物の著作権（財産権）及び所有権は、沖縄県／OCVB にすべて帰属するものとする。

- (2)受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3)成果物は、全て沖縄県及び OCVB 内での利用もしくは沖縄県・OCVB が観光振興に資すると判断した上で OCVB 関連サイトへの転載や第三者への提供が可能なものを原則使用するものとし、成果物の転載、改編、第三者への提供が著作権等その他の権利に抵触しないことを保証すること。
- (4)成果物の使用期限は設けないものとする。
- (5)成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (6)著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (7)上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開ができないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

#### 10. 注意事項

- (1)原稿など納品物については OCVB 側で変更、追加、改編などを行うことがある。
- (2) 契約者・契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容を全て実施することを保証するものではない。
- (3)本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (4)本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。
- (5)提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (6)本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。